

遠隔管理ガイド

(URoad-TEC101)

Rev .1.0

2015.6.18

株式会社シンセイコーポレーション

目 次

1. 遠隔管理サーバ有効化.....	3
1.1 Web サーバ接続	3
2. Telnet Client 接続.....	4
2.1.Telnet 機能有効化.....	4
3. SSH Client 接続.....	5
3.1.SSH 機能有効化.....	5
4. CLI コマンド	6
4.1. CLI コマンド リスト.....	6
4.1.1 CLI コマンド 使用目的	6
4.1.2 CLI コマンド 使用方法	6
4.2. CLI コマンド 実行及び結果	7
4.2.1 CLI コマンド別の実行結果	7
5. その他コマンド	19
5.1. ping	19
5.2. traceroute	19
5.3. TFTP	19
5.4. FTP	19

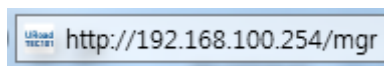
修正履歴

Ver.	改訂日付	改訂ページ 及び 内容
1.0	2015/6/18	新規作成 配布

1. 遠隔管理サーバ有効化

1.1 Webサーバ接続

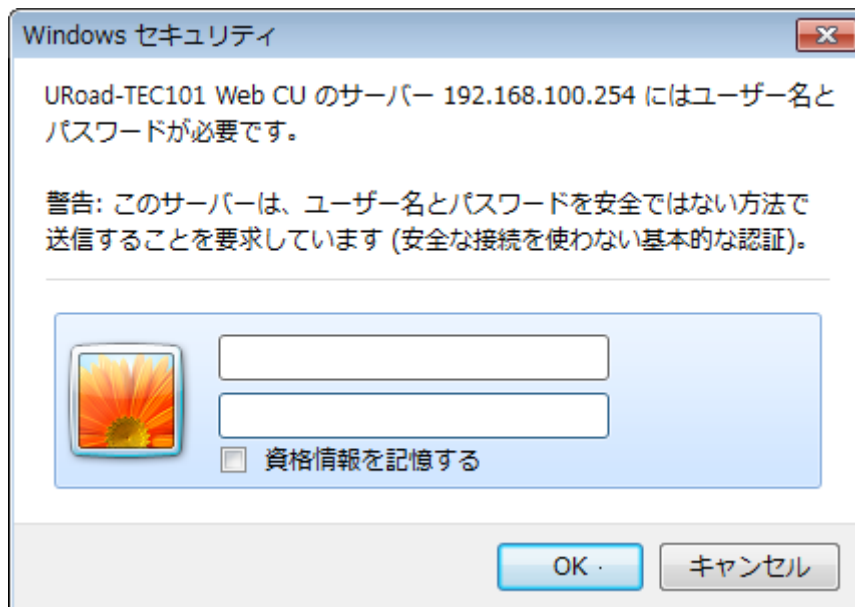
WEB設定画面は、URoad-TEC101内のWEBサーバで実行され、WiMAX/WiMAX 2+への接続に関係なく、WEB設定画面に接続することができます。WEBブラウザを実行し、アドレス入力欄に192.168.100.254/mgrを入力します。WEB設定画面に接続する前にセキュリティのため、まずIDとパスワードを確認する画面が表示されます。



Note PCとURoad-TEC101がEthernetまたは、Wi-Fiで接続されている必要があります。端末と接続されたPCのIPアドレスを自動設定に設定してください。

ユーザーの認証画面が表示されたら、ユーザー名とPWを入力後、「確認」ボタンをクリックします。PWはシステム管理ページから変更することができます。初期値は下記の通りです。WPS PINはURoad-TEC101のWPS PIN 番号です。

ユーザー名	manager
パスワード	WPS PIN



参照) ユーザー認証画面

2. Telnet Client 接続

2.1.Telnet 機能有効化

WEB設定画面の 基本設定 → 上級設定ページでTelnet機能の有効または無効を設定することができます。

The screenshot shows the '上級設定' (Advanced Settings) page for URoad-TEC101. The page has a header with the device name and various status icons (WiMAX2+, UIM, WiFi Client, Status Update) and the SHINSEI CORPORATION logo. Below the header is a navigation bar with tabs for '基本設定', 'WAN設定', 'ワイヤレス設定', 'インターネット設定', and 'ファイアウォール'. Underneath are sub-tabs for 'システム情報', 'システム設定', '時間設定', 'システム統計', '上級設定', and 'システムログ'. The main content area is titled '上級設定' and contains two sections: 'SSH' and 'Telnet'. Each section has a dropdown menu set to '有効' (Enabled) and an '適用' (Apply) button. The 'Telnet' dropdown is highlighted with a red box. To the right is a sidebar with the title '上級設定' and two sections: 'SSH' and 'Telnet', each with a brief description of the protocol and its security features.

Note

Telnet機能設定は端末を再起動しても維持されます。しかし、Internetセキュリティに問題がある可能性もあるため、使用後は、「無効」の設定にすることを推奨します。

3. SSH Client 接続

3.1.SSH機能有効化

WEB設定画面 基本設定 → 上級設定ページでSSH機能の有効または無効を設定できます。

URoad-TEC101 WIMAX2+ UIM WiFi Client ステータス更新 SHINSEI CORPORATION

基本設定 WAN設定 ワイヤレス設定 インターネット設定 ファイアウォール

システム情報 システム設定 時間設定 システム統計 上級設定 システムログ

上級設定

SSH	有効	適用
Telnet	有効	適用

上級設定

- SSH
SSH機能を設定します。
SSH (Secure Shell) とは、ネットワークに接続された機器を遠隔操作するために使用するアプリケーション層のプロトコルです。SSHではパスワード情報を含めて全てのデータが暗号化されて送信されます。
- Telnet
Telnet機能を設定します。
Telnetとは、ネットワークに接続された機器を遠隔操作するために使用するアプリケーション層のプロトコルです。Telnetではパスワード情報を含めて全てのデータが暗号化されずに送信されます。

Note

SSH機能設定は、端末を再起動しても維持されます。しかし、Internetセキュリティに問題がある可能性もあるため、使用後は、「無効」の設定にすることを推奨します。

4. CLI コマンド

4.1. CLI コマンド リスト

4.1.1 CLI コマンド 使用目的

下記のID及びパスワードを用いて、リモートまたはローカルでターミナルプログラムを使用し、URoad-TEC101の簡単な情報確認及び設定変更が可能なコマンドをサポートし、TelnetまたはSSHで端末にアクセスが可能です。以下はURoad-TEC101で提供するCLIコマンドリストです。

ID	manager
Password	urtc1mgr@enterprise

種類	内容
current_mode	現在接続モード出力
switch_mode	High Speed ↔ No Limit Mode 変更
network_info	現在使用中のWiMAX/WiMAX 2+のIP/Gateway/DNS情報
uim_info	IMSI/UIMの情報出力
version_info	端末バージョン情報出力
wimax_signal	WiMAX信号強度表示
wimax2_signal	WiMAX 2+ 信号強度表示
wimax_info	WiMAX状態情報
wimax2_info	WiMAX 2+ 状態情報
device_info	WiMAX MAC/IMEI情報出力
apn_info	APN Table情報出力
attach_info	使用中のAPN情報出力
write_apn	使用中のAPN情報修正
factory_reset	工場初期化実行
reboot	端末再起動
fwupdate	SWアップデート実行
config_backup	端末設定情報保存
config_recover	端末設定情報復元

4.1.2 CLI コマンド 使用方法

Telnet または SSHで URoad-TEC101にログインし、上記のコマンドを使って端末情報確認及び、変更が可能です。例えば、"`clicmd version_info`"を実行した場合、以下のような情報が出力されます。

```
/tmp $ clicmd version_info
=====
URoad-TEC101 version    [1.0.6.1]
WiFi version            [9.5.5.36]
MTE-N100 version        [0.9.2.1]
UCM version             [0.5.8.0]
WiMAX2+ FW version      [0.2.32.0]
WiMAX FW version        [2.3.9.4]
=====
```

4.2. CLI コマンド 実行及び結果

4.2.1 CLI コマンド別の実行結果

clicmdを実行する場合、情報出力及び設定例を表示します。各項目の出力結果は下記の通りです。

4.2.1.1 current_mode

現在接続中の通信モード(No Limit / High Speed)を表示します。

Ex) clicmd current_mode

- No Limit モードの場合

```
Current mode          [No Limit]
```

- High speed モードの場合

```
Current mode          [High Speed]
```

4.2.1.2 switch_mode

current_modeで現在の通信モードを確認します。High speed モードの場合、switch_mode コマンドによって No Limit モードに変更されます。

Ex) clicmd switch_mode

```
Switch Mode HS->NL Success
```

current_modeで現在の通信モードを確認します。No Limit モードの場合、switch_mode コマンドによってHigh speed モードに変更されます。

Ex) clicmd switch_mode

```
Switch Mode NL->HS Success
```

4.2.1.3 network_info

ネットワークに接続して割り当てられたIP情報 (IP address / Gateway IP/ Primary DNS / Secondary DNS)を表示します。次のようにnetwork_infoコマンドによってIP情報を確認することができます。

Ex) clicmd network_info

```
WAN IP                [106.149.xxx.xxx]
```

Gateway IP	[106.149.xxx.xxx]
Primary DNS Server IP	[106.149..xxx.xxx]
Secondary DNS Server IP	[106.149.xxx.xxx]

4.2.1.4 uim_info

uim_info は、UIM内部の情報を出力します。IMSI / UIM status情報を表示します。

Ex) clicmd uim_info

WiMAX2+ IMSI	[406977000000001]
UIM Status	[inserted]

- WiMAX 2+ IMSI : 端末に装着されたUIMのIMSI 情報
- UIM Status : UIMの装着状態を表示

4.2.1.5 wimax_signal

WiMAX 信号強度を表示します。

Ex) clicmd wimax_signal

WiMAX Signal Level	[5]
--------------------	-----

- WiMAX signal 範囲と意味
 - "-" : 圏外
- signal level 範囲は 0 ~ 5

4.2.1.6 wimax2_signal

WiMAX 信号強度を表示します。

Ex) clicmd wimax2_signal

WiMAX2+ Signal Level	[4]
----------------------	-----

- WiMAX 2+ signal 範囲と意味
 - "-" : 圏外
- signal level 範囲は 0 ~ 4

4.2.1.7 wimax_info

端末の WiMAX 情報を出力します。

Ex) clicmd wimax_info

WiMAX MAC Address	[00:1D:93:FE:DC:BA]
WiMAX State	[Connected]
WiMAX Signal Level	[2]

- WiMAX 接続状態情報
 - 1) WiMAX MAC Address : 端末の WiMAX MACアドレス
 - 2) WiMAX State : WiMAXの接続状態情報
 - "Connected" : 網接続状態
 - "Connecting" : 接続中
 - "OUTOFZONE" : 圏外

"-" : 接続待機または接続失敗状態

3) WiMAX signal 範囲と意味

"-" : 圏外

signal level 範囲は 0 ~ 5

- WiMAX 2+に接続中、下記のように出力されます。

WiMAX MAC Address	[00:1D:93:FE:DC:BA]
WiMAX State	[-]
WiMAX Signal Level	[-]

4.2.1.8 wimax2_info

端末の WiMAX 2+ 情報を出力します。

Ex) clicmd wimax2_info

WiMAX2+ IMSI	[406977000000001]
WiMAX2+ State	[Connected]
WiMAX2+ Signal Level	[3]

- WiMAX 2+ 接続状態情報

1) WiMAX 2+ IMSI : 端末に装着されたUIMのIMSI情報

2) WiMAX 2+ State : WiMAX2+の接続状態情報

"Connected" : 網接続状態

"Connecting" : 接続中

"Connect error" : 接続失敗

"OUTOFZONE" : 圏外

"-" : スキャンング

3) WiMAX 2+ signal 範囲と意味

"-" : 圏外

signal level 範囲は 0 ~ 4

- WiMAXに接続中、下記のように出力されます。

WiMAX2+ IMSI	[406977000000001]
WiMAX2+ State	[-]
WiMAX2+ Signal Level	[-]

4.2.1.9 device_info

端末 IMEI 及び WiMAX MAC address 表示します。

Ex) clicmd device_info

WiMAX2+ IMEI	[352898060000001]
WiMAX MAC Address	[00:1D:93:FE:DC:BA]

4.2.1.10 apn_info

APN(Access Point Name) Tableは、WiMAX 2+ 接続時に使う Attach Infoをリストとして管理します。"clicmd apn_info"を実行し端末に保存されている APN Table 情報を表示します。1 ~ 7番まで7個のAPN Table全体が表示されます。全部で8個のAPN Table情報が存在しますが、0番目(デフォルト)のAPN情報は表示されません。APNリストの各項目の説明は下記の通りです。

1) ENABLED_1 = APN Profile 使用設定(1 : 使用 、0: 不使用)

write_apnを使う場合、またはWeb UIで情報を修正する場合、設定されたAttach Infoの ENABLED値が1に変更されます。ENABLED値は8個のリストの中で使用中のAttach infoのみ1に設定され、残りは全て0に設定されます。表示されたAPN情報の中、ENABLEDが1に設定されたものがない場合、0番目(デフォルト)のAPN情報を使用中です。

2) PDN_LABEL_1= APN Profile 名

3) NI_1= : APN 名

4) IP_TYPE_1=0 : 使用IP形式 (0 : IPv4)

5) AUTH_TYPE_1= 認証形式 (0: PAP、1: CHAP)

基本値は 1 : CHAP です。

6) USERNAME_1= 使用者名

7) PASSWORD_1= 使用者パスワード

write_apn または Web UIの "WAN設定 → 認証設定"で APN Tableを修正しない場合、下記のように基本設定を確認することができます。

Ex) clicmd apn_info

```
ENABLED_1=0
PDN_LABEL_1=
NI_1=
IP_TYPE_1=0
AUTH_TYPE_1=0
USERNAME_1=
PASSWORD_1=
ENABLED_2=0
PDN_LABEL_2=
NI_2=
IP_TYPE_2=0
AUTH_TYPE_2=0
USERNAME_2=
PASSWORD_2=
ENABLED_3=0
PDN_LABEL_3=
NI_3=
IP_TYPE_3=0
AUTH_TYPE_3=0
```

```
USERNAME_3=  
PASSWORD_3=  
ENABLED_4=0  
PDN_LABEL_4=  
NI_4=  
IP_TYPE_4=0  
AUTH_TYPE_4=0  
USERNAME_4=  
PASSWORD_4=  
ENABLED_5=0  
PDN_LABEL_5=  
NI_5=  
IP_TYPE_5=0  
AUTH_TYPE_5=0  
USERNAME_5=  
PASSWORD_5=  
ENABLED_6=0  
PDN_LABEL_6=  
NI_6=  
IP_TYPE_6=0  
AUTH_TYPE_6=0  
USERNAME_6=  
PASSWORD_6=  
ENABLED_7=0  
PDN_LABEL_7=  
NI_7=  
IP_TYPE_7=0  
AUTH_TYPE_7=0  
USERNAME_7=  
PASSWORD_7=
```

4.2.1.11 attach_info

現在使用中のAPN情報を表示します。Ex) clicmd attach_info

```
ATTACH_APN_NAME=test.moda.ne.jp  
ATTACH_IP_TYPE=0  
ATTACH_AUTH_TYPE=0  
ATTACH_USER_ID=test@test.moda.ne.jp  
ATTACH_PWD=password
```

※デフォルトのプロファイル"Internet"を選択時は、下記のように*****で表示されます。

```
ATTACH_APN_NAME=*****
ATTACH_IP_TYPE=*****
ATTACH_AUTH_TYPE=*****
ATTACH_USER_ID=*****
ATTACH_PWD=*****
```

- APN Parameter 説明

- 1) ATTACH_APN_NAME
 - (1) 接続 APN 名 (Access Point Name)
- 2) ATTACH_IP_TYPE
 - (1) 接続時使用するIP タイプを設定します。
 - (2) 設定範囲/意味
 - 0: 固定 (IPv4)
- 3) ATTACH_AUTH_TYPE
 - (1) 接続時使用する認証タイプを設定します..
 - (2) 設定範囲/意味
 - 0: PAP、1: CHAP
- 4) ATTACH_USER_ID
 - (1) 接続 APN名(Protocol IDで使用)
- 5) ATTACH_PWD
 - (1) 接続 APN Password

4.2.1.12 write_apn

端末がWiMAX 2+接続に使用する APN情報を修正します。APN情報は必ずご加入のWiMAX事業者から指定された情報を入力してください。

※APN情報入力後、端末再起動により適用されます。

- **write_apn [apn name] [IP type] [auth_type] [username] [password]**

Ex) clicmd write_apn apnname.ne.jp 0 1 user@apnname.ne.jp pw

```
APN Write Success
```

1) Parameter 説明

- [apn name] = : APN 名前
 - 次のような文字が使用可能です。32文字まで入力可能です。
 - [abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789!#\$()*-./=@[]^_{}~]
- [IP type] = 使用IP形式(0 : IPv4)
- [auth_type] = 認証形式 (0: PAP、1: CHAP)
- [username] = 使用者名
 - 次の文字が使用可能です。45文字まで入力可能です。
 - [abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789.-_/@]
- [password] = 使用者パスワード

次の文字が使用可能です。16文字まで入力可能です。

```
[abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789!#
$( )*+-./:;>=?@[_{}]
```

正常にAPN Writeが実行された場合、上記のように「success」メッセージが出力されます。Parameterに誤入力があった場合は "write apn fail" と表示され、usage メッセージが表示されます。

2) APN 設定値確認

- (1) 設定された、APN 情報は "clicmd attach_info" コマンドで確認ができます。
- (2) "clicmd apn_info" コマンドでも確認が可能です。ENABLED_1項目の APN 情報が記入されたことを確認します。clicmdを使って、APN書き込みをする場合、ENABLED_1のみに入力されるようになっており、PDN_LABEL_1は、write_apnでサポートされていないため「Manager-Profile」(固定)で設定されます。ただし、WEB設定画面では変更可能です。

```
ENABLED_1=1
PDN_LABEL_1=Manager-Profile
NI_1= [apn name]
IP_TYPE_1= [pdn type]
AUTH_TYPE_1= [auth_type]
USERNAME_1= [username]
PASSWORD_1= [password]
```

※WEB設定画面で提供する「追加」及び「削除」機能は提供していません。

Ex) clicmd write_apn Internet

```
APN Write Success
```

- Internet : APN情報デフォルト設定

4.2.1.13 factory_reset

端末を工場出荷時の状態に戻します。実行後、端末は自動再起動をします。

Ex) clicmd factory_reset

コマンド実行時に下記のように実行可否を確認します。「y」または「Y」を入力する場合のみ動作します。

```
clicmd factory_reset: execute [y/n]?
```

実行後、端末は再起動されます。

```
Factory Reset Succeeded
```

4.2.1.14 reboot

端末の再起動を実行します。

Ex) clicmd reboot

コマンド実行時に下記のように実行可否を確認します。「y」または「Y」を入力する場合のみ動作します。

```
clicmd reboot: execute [y/n]?
```

実行後、以下のメッセージが表示され、端末が再起動します。

Reboot Success.

4.2.1.15 fwupdate

端末のRemote アップデートを実行します。

Ex) clicmd fwupdate

コマンド実行時に下記のように実行可否を確認します。「y」または「Y」を入力する場合のみ動作します。

clicmd fwupdate: execute [y/n]?

実行後、以下のメッセージが表示され、その後の動作は状況によって異なります。

Software update start.

1) 動作

- FW アップデートサーバーに new versionがある場合、software updateが実行されます。

2) コマンド実行結果

2.1) アップデート成功

Software update start.
 ⋮
 Software update success.

2.2) アップデート失敗

(1) サーバに接続できない場合、またはOTAアップデート失敗の場合

Software update start.
 No such file or directory
 Software download fail.

(2) サーバ接続はできるがOTAアップデートバージョンが有効ではない場合

端末のバージョンが最新バージョンの場合、アップデートを実行せず下記のメッセージが表示されます。

Software update start.
 Software already latest version.

4.2.1.16 config_backup

- config_backup

コマンドにparameterを指定せず実行した場合は、URoad-TEC101内部にバックアップファイルを生成します。

端末内部に生成されたバックアップファイルは、揮発性メモリに保存されるため、端末再起動時には削除されます。

バックアップされる設定項目は下記の「○」項目となります。

WEB 設定画面項目 【manager】アカウント		バックアップ項目	
基本設定	システム設定	admin アカウント設定	○
		manager アカウント設定	○

		ソフトウェアアップデート	×
		自動アップデート	×
		設定保存/復元	×
		工場出荷時設定復元	×
		システム再起動	×
		自動再起動	○
	時間設定	NTP 設定	○
	システム統計	通信量カウンター	×
		通信量カウンターのリセット	×
	上級設定	SSH	○
Telnet		○	
システムログ	システムログ	○	
WAN 設定	UIM 管理	UIM 情報	×
	通信モード設定	通信モード設定	○
	プロファイル設定	APN プロファイル	○
ワイヤレス 設定	ワイヤレス設定	基本設定	○
		Wi-Fi 送信出力の省電力設定	○
	ワイヤレスセキュリティ	SSID 選択	○
		SSID1/2 セキュリティモード	○
		WPA	○
	WPS 設定	WPS 設定	○
		WPS PIN 設定	○
		WPS サマリー	○
		WPS リセット	×
	ステーションリスト	無線ネットワーク	×
Wi-Fi のオン/オフ	Wi-Fi のオン/オフ	×	
インターネット 設定	LAN 設定	LAN 設定	○
	DHCP/DDNS 設定	DHCP 設定	○
		DDNS 設定	○
	DHCP 上級設定	DHCP 上級設定	○
DHCP クライアント	LAN DHCP 接続リスト	×	
ファイアーウォール 設定	DMZ	DMZ 設定	○
	ポートフォワーディング	仮想サーバ設定	○
		システム上の仮想サーバ	○
	MAC/IP/ポートフィルタリング	基本設定	○
		MAC/IP ポートフィルタ設定	○
		システム上の MAC/IP/ポートフィルタリングルール	○
	システムファイアーウォール	WAN から Ping 接続	○
		WEB 設定画面のセキュリティ	○
		VPN パススルー	○
		Ping テスト	×
コンテンツフィルタ設定	制限するコンテンツ	○	
	設定済みコンテンツフィルタ	○	

バックアップファイル名は、「URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin」と生成され、端末のMAC addressと バックアップを実行した年月日(yyyymmdd)を組み合わせたファイル名で /tmp/にバックアップファイルを生成します。

(Windows OSでFTPサーバ使用時、Windowsファイアウォール機能を使用しない、または例外処理に登録しないとバックアップファイルのアップロード及びダウンロードができません。)

Ex) clicmd config_backup

```
Config backup saved to /tmp/URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin
```

Need more parameters to put backup file on FTP server

```
clicmd config_backup [User Name] [Password] [FTP server IP]
```

- **config_backup [username] [password] [ftp_server_ip]**

1) バックアップファイルを FTP サーバに転送する場合は、下記のように実行します。実行完了後、FTP サーバにバックアップファイルが正常に送信されたことを確認してください。ネットワーク状態が不安定な場合やネットワークに接続されていない場合は転送できません。

Ex) clicmd config_backup username password xxx.xxx.xxx.xxx

```
Connecting to xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx:21)
```

```
ftpput: cmd (null) (null)
```

```
ftpput: cmd USER ID
```

```
ftpput: cmd PASS PW
```

```
ftpput: cmd TYPE I (null)
```

```
ftpput: cmd PASV (null)
```

```
ftpput: cmd STOR URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin
```

```
ftpput: cmd (null) (null)
```

```
ftpput: cmd QUIT (null)
```

2) FTPサーバの ID/PW誤入力時、下記のように FTPサーバへのログイン失敗メッセージが表示されません。

```
ftpput: unexpected server response to PASS: 530 Login or password incorrect !
```

3) FTPサーバの入力した ID / PW の書き込み権限がない場合は、下記のように失敗のメッセージが表示されます。

```
ftpput: cmd STOR URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin
```

```
ftpput: unexpected server response to STOR: 550 Permission denied
```

4) ネットワーク状態が不安定な場合や接続されていない場合、下記のように待機モードになり、180秒後に時間超過で終了します。

```
Connecting to xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx:21)
```

```
ftpput: cannot connect to remote host (xxx.xxx.xxx.xxx): Connection timed out
```

4.2.1.17 config_recover

- **config_recover [/tmp/filename]**

: バックアップファイルを指定し、設定内容を復元する為のコマンドです。実行前にバックアップファイルが存在するか必ず確認してください。

(Windows OSでFTPサーバ使用時、Windowsファイアウォール機能を使用しない、または例外処理に登録しない場合は、バックアップファイルのアップロード及びダウンロードができません。)

Ex) config_recover /tmp/URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin

```
Restore Succeeded
```

入力したファイルがない場合は、下記のようにエラーメッセージが表示されます。

```
config file not found
```

- **config_recover [username] [password] [ftp_server_ip] [filename]**

1) ftp サーバにあるバックアップファイルを指定し、設定内容を復元する際に使用するコマンドです。ネットワーク状態が不安定な場合、またはネットワーク接続されていない場合は、FTP接続及びダウンロードができず復元に失敗します。

Ex) clicmd config_recover username password xxx.xxx.xxx.xxx URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin

```
Connecting to xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx:21)
ftpget: cmd (null) (null)
ftpget: cmd USER ID
ftpget: cmd PASS PW
ftpget: cmd TYPE I (null)
ftpget: cmd PASV (null)
ftpget: cmd SIZE URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin
ftpget: cmd RETR URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin
ftpget: cmd (null) (null)
ftpget: cmd QUIT (null)
Restore Succeeded
```

2) FTPサーバの ID/PW を間違えて入力した場合は、下記のように FTPサーバへのログイン失敗メッセージが表示されます。

```
ftpget: unexpected server response to PASS: 530 Login or password incorrect !
config recover fail.
```

3) FTPサーバの ID/PW誤入力時、下記のように FTPサーバへのログイン失敗メッセージが表示されません。

```
ftpget: unexpected server response to RETR: 550 Permission denied
config recover fail.
```

4) ネットワーク状態が不安定な場合や接続されていない場合、下記のように待機モードになり、180秒後に時間超過で終了します。

```
Connecting to xxx.xxx.xxx.xxx (xxx.xxx.xxx.xxx:21)
ftpput: cannot connect to remote host (xxx.xxx.xxx.xxx): Connection timed out
```

* config_backupで生成された「URoad-TEC101_001D93ABCDEF_20140913.bin」のようなファイル名は任意に変更することが可能です。ただし、ファイル名の変更時には、使用しているOSがサポートする文字列であれば特に問題はありますが、ASCII文字の使用を推奨します。

* config_recoverコマンドでバックアップしたconfigを復元する場合、すべての設定がバックアップ時の設定に復元

されます。また、他の端末でバックアップしたconfigを復元した場合は、Wi-FiのSSIDなどもバックアップした端末と同設定に復元されますので、ご注意ください。

4.2.1.18 version_info

- MTE-N100 モジュールに対するバージョン情報を出力します。

URoad-TEC101 version	[1.0.6.1]
WiFi version	[9.5.5.36]
MTE-N100 version	[0.9.0.1]
UCM version	[0.5.8.0]
WiMAX 2+ FW version	[0.2.32.0]
WiMAX FW version	[2.3.9.4]

5. その他コマンド

5.1. ping

リモートまたはローカルでターミナルプログラムを使用し、URoad-TEC101の簡単なネットワーク通信状態を確認することができます。一般的なPingコマンドと同一ですが、URoad-TEC101ではsudoコマンドを使用してください。

- sudo ping 8.8.8.8

```
/tmp $ sudo ping 8.8.8.8
PING 8.8.8.8 (8.8.8.8): 56 data bytes
64 bytes from 8.8.8.8: seq=0 ttl=43 time=171.502 ms
64 bytes from 8.8.8.8: seq=1 ttl=43 time=152.138 ms
64 bytes from 8.8.8.8: seq=2 ttl=43 time=152.142 ms
64 bytes from 8.8.8.8: seq=3 ttl=43 time=156.167 ms
```

5.2. traceroute

リモートまたはローカルでターミナルプログラムを使用し、URoad-TEC101のネットワーク通信状態や経路情報を確認することができます。一般的なtracerouteコマンドと同一ですが、URoad-TEC101ではsudoコマンドを使用してください。

- sudo traceroute 8.8.8.8

```
/tmp $ sudo traceroute 8.8.8.8
traceroute to 8.8.8.8 (8.8.8.8), 30 hops max, 38 byte packets
 1  192.168.44.254 (192.168.44.254)  4.289 ms  3.847 ms  3.975 ms
 2  192.168.80.254 (192.168.80.254)  71.968 ms  87.932 ms  91.889 ms
  ⋮
```

5.3. TFTP

リモートまたはローカルでターミナルプログラムを使用し、URoad-TEC101でファイルのアップロード/ダウンロードができます。

5.4. FTP

リモートまたはローカルでターミナルプログラムを使用し、URoad-TEC101でファイルのアップロード/ダウンロードができます。